

自由な発想で生まれる新たな表札文化

# 美濃クラフトのものづくり

男前表札

## 伝説の聖剣



同社の代表作の一つ「伝説の聖剣」。「男だったらこんな表札がほしいはず」という発想から生まれたのだと

代表作である「男前シリーズ」や「濃い顔シリーズ」など、これまでの常識をくつがえす表札を次々と生み出している岐南町のエクステリア企業「美濃クラフト」。企画から製作までのさまざまなこだわりと、表札の普及にかける思いなどを伺った。

## 郷土の歴史と美術を気軽に楽しむ文化ゾーン

岐南町に構える「美濃クラフト」は、表札業界を牽引するトップドリーダーの一社として、全国にその名を知られている。「もともと造園業を営んでいた父が、表札を専門に扱っている業者が少ないことに着目したのが、創業のきっかけだ」と聞いています。と話すのは、初代社長である都竹和彦さんの息子で、現代表取締役社長を務める都竹隆広さん。1984

年に、石材の表札を製造販売する「美濃工芸」を立ち上げたのが同社の始まりだ。その後は石材だけでなく、陶器やステンレス、ガラスなど、さまざまな素材を表札に応用。1992年に現在の「美濃クラフト」を設立した。

最初の転機は90年代の中頃。錆びてしまふので従来は表札向きでない鉄を使って、腐食などを防ぐ加工を施した上で新商品「アイアンサイン」



統括部長  
高橋功さん(左)  
代表取締役社長  
都竹隆広さん(右)

男前シリーズの「伝説の盾」。ポストになっている

## 楽しい表札をつくって家族の笑顔を増やしたい

や技術力を発揮できる会社にしていきたい」と前を見据える。

を開発。都内の展示会で注目され、大型の発注を勝ち取った。

2011年、表札を飾る場所である門柱やポストに特化した「かほんシリーズ」の販売を開始。次いで2016年に、表札を住まいの顔と捉え、持ち主の個性や趣味嗜好をピンポイントで表現していく「濃い顔シリーズ」を発表した。当時のラインアップは、洋剣を模した全長1・5m以上の表札「伝説の聖剣」など約6種類。同年に都内の展示会でお披露目され、とりわけ「伝説の聖剣」は人だからりが途切れないと注目を集めた。その日のうちにSNSで「自らに課しているルールは、自由と、それをかたちにすることのできる技術力の高さが、同社の進化と発展を支えている。

「自らに課しているルールは、自由と、それをかたちにすることのできる技術力の高さが、同社の進化と発展を支えている。このした新しい商品を次々と創造していく柔軟な企画力と、それをかたちにすることのできる技術力の高さが、同社の進化と発展を支えている。

「もうすでにいろんなタイプが出尽くしていますから、新しいアイデアが浮かばないことなんでしょう」と高橋さん。普段からネットやテレビ、本などで情報を集めてコンセプトを打ち出し、それをどのように表札として落とし込んでいくのかは、目の前にある身近なものからヒントを得ることが多いという。

「企画の原動力になっているのは、それを使っていただく家族の皆さんを幸せにしたいという思い。楽しい表札を通してたくさんの家族を笑顔にできたら、少しでも虐待などの問題を減らしていくことに貢献できるんじゃないかなと思っているんです」

今後は、表札という日本に特有の文化をもつと根付かせていくことが、会社としての大きな目標だ。代表取締役社長の都竹さんは、「そのためにも、従業員みんなが気持ちよく働ける環境を整え、誰もが自由に発想力

## 誰もが自由に発想力や技術力を發揮できる会社にしていきたい

1 「伝説の聖剣」の剣身にはステンレスを使用。磨いてツヤを出してから、戦ったあとに見えるような加工を施していく 2 文字の微調整を行っているレイアウト部 3 職人の経験と技術が生かされるサンドブラスト。素材や文字のかたちに合わせて最適な深さで彫り込んでもいいという 4 仕上げ前の最後の工程。きれいに塗装できるよう、表面のざらつきなどを取り除いていく

会社としての大きな目標だ。代表取締役社長の都竹さんは、「そのためにも、従業員みんなが気持ちよく働ける環境を整え、誰もが自由に発想力



1 「伝説の聖剣」の剣身にはステンレスを使用。磨いてツヤを出してから、戦ったあとに見えるような加工を施していく 2 文字の微調整を行っているレイアウト部 3 職人の経験と技術が生かされるサンドブラスト。素材や文字のかたちに合わせて最適な深さで彫り込んでもいいという 4 仕上げ前の最後の工程。きれいに塗装できるよう、表面のざらつきなどを取り除いていく

information

美濃クラフト  
所在地: 羽島郡岐南町三宅3-228  
電話: 058-248-3000  
<https://www.minocraft.co.jp/>

常社としての大きな目標だ。代表取締役社長の都竹さんは、「そのためにも、従業員みんなが気持ちよく働ける環境を整え、誰もが自由に発想力